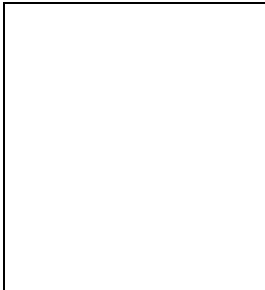


▽ 安原 陽平 講師 YASUHARA Yohei



所 属:総合文化学部 人間福祉学科
 担当科目:教育の制度、教育の思想と原則、教職研究Ⅱ
 社会科・公民科教育法

学歴等のプロフィール

- ①【主要学歴】②【学位】③【所属学会】④【主要な社会的活動】

①早稲田大学教育学部教育学科教育学専修卒業 早稲田大学大学院社会科学研究科政策科学論専攻博士後期課程満期退学
②修士(学術)
③日本教育法学会、日本公法学会、全国憲法研究会、憲法理論研究会、ドイツ憲法判例研究会 日本生活教育連盟、国際人権法学会
④特になし

教育活動等

主な教育活動	年月日	摘要
1. 教育活動・方法の実践例 1)教育の制度	2016年4月～	教職に関する科目、講義形式、2単位、講義配付レジュメはポータルで共有。 日本の公教育の仕組みについて理解し、その長所と短所を検討する。
2)教育の思想と原則	2016年4月～	教職に関する科目、講義形式、2単位、講義配付レジュメはポータルで共有。 様々な学説や事案を通して、教育に関する思想や原理・原則を理解し、考察をおこなう。
3)教職研究Ⅱ	2016年4月～	教職に関する科目、ディベート形式、1単位、ディベートをおこなうグループへの事前指導等。 特定のテーマにつき、賛成意見・反対意見の考えを知り、そのうえで自分の考えを根拠を示し論理的に相手

4) 社会科・公民科教育法	2016年10月～	に伝えられる技能の獲得を目指す。 教職に関する科目、演習形式、2単位。 社会科のための基本的な知識を深めることを目指す。
5) 教職実践演習	2016年～	教職に関する科目、演習形式、2単位、教育科学研究を担当。
2. 作成した教科書、教材、参考書		
1) 『ガイドブック 教育法 新訂版』(三省堂)(分担執筆)	2015年12月	教育制度や法令を理解するための入門書。 「教育の制度」で、教科書として使用。
2) 『高校生のための憲法入門』(三省堂)(分担執筆)	2017年4月	高校生をはじめとする比較的若い読者を対象とした憲法学の入門書。 「教育の制度」、「教育の思想と原則」、「教職研究Ⅱ」等で、参考書として紹介。
3) 『高校生のための選挙入門』(三省堂)(分担執筆)	2016年7月	高校生をはじめとする比較的若い読者を対象とした投票、選挙運動、政治活動に関する入門書。 「教育の制度」、「教職研究Ⅱ」等で、参考書として紹介。
4) 『教職課程のための憲法入門』(弘文堂)(分担執筆)	2016年2月	教職課程の必修科目である日本国憲法を受講する学生を対象とした憲法入門書。 「教育の制度」等で、参考書として紹介。
5) 『ケアと人権』(成文堂)(分担執筆)	2013年10月	ケアの大切さと、ケアの抱える問題点を人権論の視点から問う概説書。 「教育の思想と原則」、「教育の制度」等で、参考書として紹介。
3. 学外での教育活動		
1) 東京学芸大学での非常勤講師(2011年10月～2013年3月)、特任講師(2013年4月～2016年3月)	2011年10月～ 2016年3月	「日本国憲法」、「社会科入門演習」、「社会科教材論」、「社会科カリキュラム論」、「教育と法」、「教職実践演習」、「憲法A」、「憲法B」、「憲法C」、「法学概説」、「法学政治学演習ⅠⅡ」を担当。
2) 聖学院大学での非常勤講師	2012年4月～2016年3月	「法学」、「日本国憲法」を担当。

3) 駿河台大学での非常勤講師	2012年4月～2016年3月	「憲法Ⅰ（人権）」、「憲法Ⅱ（基礎理論と統治）」、「憲法概論」を担当。
4) 都留文科大学での非常勤講師	2013年4月～2016年12月	「憲法Ⅰ」、「憲法Ⅱ」、「教育関係法規（教育と法）AB」を担当。
5) 東京未来大学での非常勤講師	2015年4月～2016年3月	「日本国憲法」、「法律学」、「日本国憲法（通信）」、「法律学（通信）」を担当。
6) 静岡大学での非常勤講師	2015年9月 2016年2月	「法律学概論」を担当。 「法律学特論」を担当。
7) 筑波大学での非常勤講師	2015年10月～12月	「日本国憲法」を担当。
8) 2015年度筑波大学公開講座 憲法で学ぶ社会—若手憲法学者の最前線—での講師	2015年4月	「自由に対する制約の正当化から考える—校則裁判の事例を参考にして—」と題した公開講座を、筑波大学東京キャンパス文京校舎にておこなった。
9) 2015年度憲法で学ぶ社会—若手憲法学者の最前線—第二弾での講師	2015年11月	「18歳選挙権と学校における政治的中立性」と題した公開講座を、筑波大学東京キャンパス文京校舎にておこなった。
10) 琉球大学での非常勤講師	2017年10月～ 2018年3月	「応用憲法」を担当。
4. 教育改善活動 1) リアクションペーパーの活用	2011年度～	すべての講義で、講義期間中複数回リアクションペーパーを提出してもらい、講義内容の難易度の調整、学生が講義を受けやすい環境の整備（エアコン等）、あるいは学生の講義等に対する興味関心の理解のために参考になっている。

研究業績等

【主要論文及び主要著書】

【論文】

- 「高等教育の無償化に向けての憲法改正の是非」季刊教育法 195号(2017年)pp.70-75《齋藤一久、堀口悟郎との共著》
- 「生徒の政治的自由・教師の政治的自由—教育と権力の関係からの考察」法学セミナー738号(2016年)pp.55-60
- 「第3章 高校生の政治学習・政治活動、「新通知」批判」佐貫浩監修 教育科学研究会編『18歳選挙権時代の主権者教育を創る 憲法を自分の力に』(2016年、新日本出版社)pp.61-76
- 「道徳教科化の教育的問題点」日本教育法学会年報 45号(2016年)pp.119-128
- 「市民・公務員・教育公務員—ドイツ基本法三三条五項「職業官吏制度の伝統的諸原則」に関する議論を参考に—」憲法理論叢書 23号(2015年)pp.47-60
- 「道徳教育の分析—「教科教育」と「道徳教育」の関係の変容—」季刊教育法 185号(2015年)pp.24-29
- 「いじめ防止対策推進法および国の基本方針—子どもと「加害」の視点から読む—」共生と修復 4号(2014年)pp.67-71
- 「公立学校教員と全体の奉仕者—国旗国歌訴訟における全体の奉仕者と新たな解釈の可能性—」聖学院大学総合研究所紀要 55号(2013年)pp.441-472
- 「最高裁教育裁判例における教師像の展開—学テ判決と「君が代」処分違法判決をつなぐもの—」東京大学大学院教育学研究科教育行政学論叢 32号(2012年)pp.113-180《西原博史、佐藤晋平、葛西耕介、福嶋尚子との共著》
- 「公務員の勤務時間外における憲法上の権利保障に関する特殊性—特殊身分的な公務員観から公職担当者という公務員観へ—」社会学論集 17号(2011年)pp.161-176
- 「公立学校教員の基本権主張可能性—職務上の行為、職務中の私的行為、職務外の行為」社会学論集 16号(2010年)pp.235-250
- 「公立学校教員の勤務時間外における政治活動の自由と憲法忠誠—ドイツにおける基本法 33条 5項の射程をめぐって—」社会学論集 14号(2009年)pp.244-259
- 「公立学校教員志願者の「適性」と基本権保障に関する比較憲法学的考察—ドイツにおける憲法忠誠と就業禁止実践を参考として—」社会学論集 13号(2009年)pp.112-127

研究分野

教育法学、憲法学

【Eメール・ホームページ等】

y.yasuhara@okiu.ac.jp

2018年4月14日現在